

中野 寛之 議員

(一問一答方式)



- ①市民文化会館の建設
- ②大洲市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画
- ③若宮東大洲線道路改良事業
- ④東大洲こども園周辺の交通安全対策
- ⑤市立小中学校・保育施設の休校休園対策

大洲市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画について

問 DX推進計画について特に強調する点は何か。

答 本計画では、基本理念を「デジタルでみんなきらめく 幸せ・安心・誇りある ふるさと大洲」とし、この基本理念の下、目指す姿として、市民本位のスマート大洲と官民共創を図る「行政のDX」、安全・安心のデジタル共生社会を目指す「市民のDX」、デジタル化とチーム大洲による産業の変革を目指す「産業のDX」を設定し、この3つを軸として、誰一人取り残さないDXを推進したいと考えています。

その推進に当たり、市民本位、官民共創、選択と集中、県、他市町との協働の基本方針の下、変革、協働、挑戦、対話、共創の基本姿勢で取り組みます。

特に、市民や事業者等との対話や情報発信を大切にし、官民の立場を超えて共創しながら、デジタルも活用することで、新たな価値の創造を目指し、新しい大洲市、新しいまちづくりに取り組みたいと考えています。



DX推進計画について
詳しく知りたい方は
こちらをご覧ください。

若宮東大洲線道路改良事業について

問 近隣住民に大きな影響を与えてきた工事だが、進捗状況と完成時期はいかがか。

答 当事業は、大洲農高交差点から国道56号交差点までの約300メートルを平成28年度に事業認可を受け、期間を令和3年度までの6か年とし、整備を進めてきました。

進捗状況としては、大洲農高から国道56号付近ま

での整備をほぼ完了し、現在国道との接続工事を実施しています。完了時期は、令和3年度末の完成を目指し進めていましたが、用地買収及び関係機関との調整等に不測の日数を要し、今年度末までの完成が困難となったことから、事業認可を1年延長し、令和4年度中の完成を目指して進めていきます。



若宮東大洲線

東大洲こども園周辺の交通安全対策について

問 東大洲こども園近くの交差点で軽自動車と園児との接触事故を起こしたが、大洲市の交差点安全対策の見解はいかがか。

答 接触事故があった通称こぶし通りの交差点は、園児だけではなく、児童・生徒の通学路にもなっている信号機のない交通量の多い交差点です。

東大洲こども園の保護者には、入園のしおりで、駐車場からこども園までは手をつないで交通安全に気をつけるようお願いしており、今回の事故を受け、園内にも同様の文書を掲示し、注意喚起しています。また、園児に対しては、日常の教育活動を通じ、保護者と手をつないで歩くことを徹底しています。交通事故は、登降園時に限らず日常生活でも起こり得ますので、子供たちの交通事故防止について、今後も市内の保育所等の保護者に注意喚起します。

これまでの当該交差点付近の交通安全対策は、横断歩道手前の道路に10メートルにわたり濃い赤茶色のカラー舗装を施して徐行を促したり、通学、通園路であることを認識させるため、グリーンベルトを設置しています。そのほか、警察署の定期的なパトロール、交通安全協会や地元の交通指導員の方々の交通指導や広報活動などを実施しています。

今回、接触事故があった横断歩道では、ほとんどのドライバーが減速や一時停止等をしていますが、今回の接触事故によって、今後さらに警察署や交通安全協会、道路管理者などと連携し、横断旗の設置や通学、通園時における交通指導など、さらなる安全確保に向けて取り組む考えです。